



FAX COVER LETTER

日本モンキーセンター
学芸員 赤見理恵

送信先：報道各位

送信枚数：本紙を含めて 5枚

送信日：2013年 1月 25日

動物園や水族館での“教育”を語る！

第53回 日本動物園水族館教育研究会

テーマ：「資料の保存と活用」

まだまだ寒さが続きますが、皆さまお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび日本モンキーセンターにて、表記の研究会を開催いたします。北は北海道の旭山動物園、南は沖縄の美ら海水族館など、全国から動物園や水族館、教育関係者等が集い、動物園や水族館における教育活動について議論を深めます。

この研究会は、実は37年前に、全国から有志が犬山に集まり第1回目が開催された、犬山にゆかりある研究会です。また、日本モンキーセンターは全国の動物園の中で唯一の「登録博物館」であり、霊長類の膨大なコレクションを有し、それらを活用し、地域の学校と連携した教育活動にも取り組んでいます。

事前申込制のため読者の皆様にご参加いただくことはできませんが、このような取り組みを、ぜひご紹介いただければ幸いです。

■第 53 回動物園水族館教育研究会 概要

日時：平成 25 年 1 月 27 日(日) 13:00~18:00
28 日(月) 9:30~12:00

会場：日本モンキーセンター ビジターセンター内ホール

主催：日本動物園水族館教育研究会〔事務局：マリンワールド海の中道〕

共催：財団法人日本モンキーセンター

後援：(公社)日本動物園水族館協会、愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、
犬山市、犬山市教育委員会

大会テーマ：『資料の保存と活用』

参加者数(予定)：128 名

発表件数：シンポジウム 4 題、口頭発表 20 題、ポスター発表 11 題 合計 35 題

■プログラム

1 月 27 日(日)

12:30- 受付、オリエンテーション

13:00- 会長挨拶

開催園挨拶

海の中道海洋生態科学館 高田浩二

日本モンキーセンター 加藤章

13:10-14:10 個別発表①

1 13:10- 動物園水族館での教育活動ケーススタディの横断的考察の視点について
科学技術政策研究所客員研究官 牧慎一郎

2 13:22- 飼育体験をとおして子どもが得たもの ~体験前後の言葉の変化から~
大分大学医学部看護学科 河村奈美子

3 13:34- 九十九島水族館における資料の保存と活用

九十九島水族館 門脇慧史

4 13:46- 碧南海浜水族館では標本をこう集める・こう使う!

碧南海浜水族館 地村佳純

5 13:58- 標本類の登録システムと課題

(公財) 東京動物園協会 多摩動物公園 草野晴美

14:10-14:20 休憩

14:20-15:20 個別発表②

- 6 14:20- 教師を志す学生の観察能力の伸長をめざして
金城学院大学 小島省
- 7 14:32- 出張授業での様々な標本の活用例ー関心や気づきを促す工夫ー
動物教材研究所 pocket 松本朱実
- 8 14:44- 連携が根付いていくために～物・対話・信頼, そして継続～
愛知教育大学附属名古屋小学校 古市博之
- 9 14:56- 貸出動物が学校で死亡した事例とその対処
旭川市旭山動物園 奥山英登
- 10 15:08- 動物園と学校現場のよりよき連携に向けての課題と展望
愛知教育大学 大鹿聖公

15:20-15:30 休憩

15:30-16:00 ポスター発表

- P1 社会教育施設の連携による科学教育
しまね海洋館 山口慶子
- P2 動物園を活用した教育の実践ー動物に興味を持とうー
倉敷芸術科学大学 梶浦文夫
- P3 羊毛の簡易な洗浄・着色法の一例とその活用
周南市徳山動物園 半田智子
- P4 骨格標本と食育を融合させた学習プログラムについて
栃木県なかがわ水遊園 熊田美里
- P5 グループ体験型連続講座の新しい試みについて
かごしま水族館 久保信隆
- P6 標本を用いたハンズオン展示
世界淡水魚園水族館 圓戸恭子
- P7 写真資料の長期保管と利用のための提言～デジタルデータによる写真の諸問題～
東京工芸大学芸術学部 矢島仁
- P8 『いつも楽しい動物園』になるためには何が必要か？
～団体の継続利用をアンケートから考える～ 日本モンキーセンター 神田恵
- P9 水族館の飼育生物を利用したフジツボ類の研究
九州大学理学研究院 山口幸
- P10 マグロ類の標本を使った教育活動事例の紹介
葛西臨海水族園 今井啓介
- P11 サマースクール視覚障害児クラスにおける標本の活用
上野動物園 亀田愛子

16:00-18:00 シンポジウム「動物園水族館における資料の保存と教育的活用」

進行：日本モンキーセンター 高野智

- S1 上野動物園における資料の保存と活用～一次資料・二次資料・三次資料
上野動物園 井内岳志
- S2 動物園と博物館がタッグを組むと何が起こる？
国立科学博物館 川田伸一郎
- S3 パンダじゃないからできること！？教材化標本のススメ
広島市安佐動物公園 野田亜矢子
- S4 沖縄美ら海水族館における水棲生物標本の保存と利用
ー触察できる水族館をめざして 沖縄美ら海水族館 佐藤圭一

1月28日(月)

9:30-10:30 個別発表③

- 11 9:30- ビデオ教材の開発と貸出について
高知県立のいち動物公園 澤田直子
- 12 9:42- シジュウカラガン羽数回復事業の小学生への普及啓発
仙台市八木山動物公園 釜谷大輔
- 13 9:54- 身近な生き物との出会いを楽しむ場；いきもの広場をつくる
井の頭自然文化園 高松美香子
- 14 10:06- Win-Win-Win 実現のためのオリジナル紙芝居
日本平動物園ガイドボランティア 佐渡友陽一
- 15 10:18- 利用者とともに考える資料の活用方法の検討
来園者参画型図鑑づくりを事例として
NPO ZOO CAN DREAM PROJECT 福永恭啓

10:30-10:50 休憩

10:50-11:50 個別発表④

- 16 10:50- 外部機関の協力による企画展「歯歯歯展」開催について
葛西臨海水族園 小木曾正造
- 17 11:02- その後も剥いて剥いて剥きまくる、なにわホネホネ団。
大阪市立自然史博物館・なにわホネホネ団 乾公正
- 18 11:14- 大学との連携による標本製作と動物園での活用
宮城教育大学環境教育実践研究センター 齊藤千映美
- 19 11:26- プラスティック封入標本の作製とその活用をめざした
博物館スタッフ同士の交流 滋賀県立琵琶湖博物館 金尾滋史
- 20 11:38- 英国で行われた第21回国際動物園教育担当者隔年会議(IZE)に参加して

千葉市動物公園 高橋宏之

11:50-12:00 閉会挨拶、AZEC の開催案内 海の中道海洋生態科学館 高田浩二

12:00-13:00 総会 解散

13:30- 特別プログラム（事前申込）

13:30-14:15 「たき火にあたるサル」とおイモツアー（20名まで）

14:30-15:30 バックヤードツアー（20名まで）

14:30-16:00 日本モンキーセンター教育活動紹介（参加30名まで、見学のみは無制限）

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

財団法人日本モンキーセンター

TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823

e-mail : info@j-monkey.jp

担当 : 高野智（主任学芸員）、赤見理恵（学芸員）